

予算審査特別委員会

新年度予算案について、3月定例会会期中3月9日・10日の2日間にわたり審査を行いました。議員全員が委員となり、委員長は菅澤正夫議員、副委員長は伊藤信也議員が指名されました。ここでは、一部の質疑内容を掲載しています。



予算審査特別委員会委員長の菅澤正夫議員

【滞在型市民農園関連質疑】

広瀬弘二委員 滞在型市民農園設計等業務委託料2128万円について、詳細な内容を伺います。設計段階でするので、想定する場所や計画の主旨がすでに決まっているはずですが、説明を求めます。

町長 場所は二本松台に案を決めまして計画を示しております。地域参加型の事業であるため地域と話し合いながら、営農集団というものを含めて、将来へ誘導的な事業として取り入れていきたいと考えています。

椎名義光委員 町が事業主体となって立派な施設を建てて開設しても、町の活性化やPRにはならないと思います。他に民間の活力を使うなど税金をかけないでもできる方法があるのではないですか。

町長 地域に根ざした施設の核として滞在型市民農園のエリアを確保することが基本にあります。例えば、休耕田

や農地集約の問題、機械の再利用や共同利用など、多面的な問題を市民農園に集約することなど、専門的なコンサルタントの知恵を借りながら計画を進めていきたいと思っています。

小川藤男委員 構想について具体的な説明が議会にありません。住民への情報公開もお願いします。

町長 情報公開については極力努力しているつもりですが、地域と一体となった運営を行いたいということですから、この地域を選んだのは、畑・田・山が一体化できる地域であるので、国と協議をしています。地域との連携で具体的にどういうことをやっていくのが理想なのか詰めています。

菅澤昌則委員 滞在型市民農園推進対策協議会補助金20万円について内容を伺います。

産業経済課長 この事業の推進については、地域住民との交流が重要と考えております。地域で協議会を立ち上げ

考えております。



交通量の増加が見込まれる高野前交差点

加瀬芳廣委員 都市計画道路（大谷・九蔵線）が供用開始され、田町交差点や高野前交差点への信号機設置が遅れた場合、これらの交差点での優先順位をどのように考えますか。また、両交差点への信号機早期設置を町はどのように努力されていますか。

町長 できるだけ早く交差点を改良して信号機の設置をしたいと考えています。しかし、用地交渉等も含んでおりますので、国道側の信号機設置の時期と勘案し、公安委員会等へ要望していきたいと思っております。

都市整備課長 信号機が設置されるまでは、基本的に現状どおりの優先順位でと警察と協議しております。高野前交差点については、旧通りが優先と

ていただき、今後の施設管理や組織作り、広く交流できる方法などを検討していただきたいということで、20万円を計上しております。

所一重委員 全体の面積、施設の面積、滞在型の宿泊施設の戸数や総事業費など具体的な説明を求めます。また、この事業での住民へのメリットを伺います。

産業経済課長 基本構想の計画の概要は、総面積3万1000㎡、管理棟や農機具格納庫、宿泊施設付きの農園が20区画（1区画300㎡、家屋が36㎡程度、農園30〜50㎡）を予定しております。総事業費は2億7800万円程です。

町長 農業後継者の刺激、帰農に結びつくような方向性、地域活性化の一路になればと考えています。農業に力を入れていく多古町をアピールする意味でPRになると思います。

越川幸昭委員 すでに旧栗源町に同様

教育課長 広い校庭ですので砂の飛散や水はけに苦慮しています。一部芝生を張り砂の飛散防止を図っています。が、今後も効果的な対策を検討したいと考えています。また、排水については、他の学校においても課題を抱えておりますが、土質や流末等の問題がありますので、より良い方法を検討したいと思っております。

飯田良助委員 国際交流海外派遣事業で中学生20名に対し、随行者5名（教員3名、町職員2名）が予定されています。生徒に自覚や責任感を持たせるためには随行者が多すぎると思いますが、考えを伺います。



ニュージーランドのホストファミリーと対面

の施設があり視察したところ、農業目的ではなく主旨に沿わない利用や、農園の管理ができない利用者が多い状況と聞きます。また、機械や耕運機は貸出すのですか。

産業経済課長 機械の調達、使用方法なども地域の方々と検討していきたいと思っております。視察したところ、トラクターは危険性があるということで指導者がやっております。その他、鍬や管理機などは倉庫にあつて自由に使えるということで検討していきたいと考えています。

【一般会計】

伊藤信也議員 町税の収入が前年度と比較して8362万3千円（4.2%）減少していますが、この内容について伺います。

税務課長 景気低迷などの影響により、町民税（個人町民税・法人町民税）を前年度と比較して5691万8千円（7.0%）減額を見込んだことや、たばこ税が減収傾向にあることから、2294万2千円（8.6%）減額を見込んだことが主な理由です。

椎名義光委員 新規事業として空港シャトルバスの運行がありますが、どのような料金体系を考えていますか。

企画財政課長 道の駅多古から空港第2ビルまでの運行を9月から実施する

教育課主幹 ほとんどの生徒は海外が初めての経験になります。5名程度のサポートは必要と考えております。

【学校給食センター会計】

石渡悦子委員 調理配送業務委託料3400万円が予算計上されていますが、業務委託の内容を伺います。

学校給食センター所長 給食の調理業務と配送業務を年度途中から全面民間委託します。数社から調理配送業務についての企画を提案してもらい、費用面や業務の効率性に優れた業者と契約したいと考えております。

【国民健康保険特別会計】

椎名義光委員 毎年繰越金が出て財政調整基金へ積立てをしています。徴収した国保税からの積立てであることから、精査して国保税の軽減を図るべきではないですか。

住民課長 平成20年度では繰越金が1億8千万円余り、財政調整基金は2億3千万円余りの決算となっております。しかし、国・県からの調整交付金の支払いが遅れるため、4月分の療養給付費の支払いを繰越金や財政調整基金を取り崩して資金調整をしている現状です。また、急激な療養給付費の増大に対処するためにも財政調整基金は必要と考えております。